「とある定時制高校（夜間）の生徒会長」

村上慎太郎

ミホ　２０代　　生徒

ケンジ　５０代　生徒

トモヤ　１０代　生徒

ユミ　１０代　　生徒

アイ　２０代　　先生

生徒会室で、ケンジとミホがいちゃいちゃしている。

ミホ これ知ってる？　恋占い。

相手の名前と自分の名前の分だけ、芯出して、それで芯を折らんと、

ハートマークを黒く塗りつぶせたら、二人の恋は成就するていうやつ。

ケン　なにそれ

ミホ　やってみいひん？

ケン　やろやろ

ミホ　……ス、ズ、キ、ミ、ホ。（ケンジの顔みて）……そ、の、だ、け、ん、じ。

これで、この芯を折らんと、ハートマークを黒く塗りつぶせば成就します……はい。

　ミホは、シャーペンをケンジに渡す。

ケン　あ、俺がやんの？

ミホ　うん。

ケン　よし。（受け取る）

ミホ　絶対折らんといてや、

　ケンジは、腕まくりして、二人は、集中して、

　黒く塗りつぶしはじめる。黒鉛で紙をこする音が響く。

　が、シャー芯は折れてしまう。

ケン　あ。

ミホ　あ。ああぁ、

ケン　ごめん。

ミホ　……わざと折った？

ケン　そんなわけないやんかあ、だって、ミポリンのこと大好きやもん

ミホ　ほんま？

ケン　だいすき

みほ　どんくらい？

ケン　（手を広げて）こんくらい

みほ　そんだけ？

ケン　（更に広げて）もうこーんくらい。

ミホ　うふんんん！

ケン　えへえ。

ミホ　けんちゃん

ケン　ミポリン

ミホ　けんちゃん

ケン　ミポリン

　などと、繰り返し、いちゃいちゃしている二人。

　ともやが二人を目撃。

　固まり、

ミホ　今日、仕事めっちゃ疲れたわ

ケン　お疲れ様

ミホ　ケンちゃんは、今日なにしてたん？

ケン　一日寝てた

ミホ　ええなあ。うち、もう眠いもん。

　ともや去る。

ケン　……誰も来うへんなあ。

ミホ　帰ろか？

ケン　まあまあ

ミホ　なんでよ

ケン　これやっといたら単位もらえるからさ

ミホ　やけど終電もあるしさあ……

ケン　単位やばいんやろ

ミホ　やばいけどさあ、うち、昼、仕事してさ、夜、勉強して、

その後、生徒会役員までやるってなったら……絶対しんどいもん……。

ケン　がんばろうや。今年一緒に卒業したいもん。

ミホ　……がんばるけどさあ。

ケン　俺、フォローするし。

ミホ　ほんま？

ケン　ほんま。

ミホ　じゃあ、あとちょっとだけ、がんばる。……タバコいこ

ケン　せやな。

　などと喋りながら、喫煙所へ。

○教師・アイ

　教師・アイが登場。

ホワイトボードに

「生徒会役員決め！」

「生徒会長」「副会長」「書記」「会計」と書く。

椅子に座り、アイは、一息。

アイ　……。

　扉付近にユミ。

アイ　どうしたの？

ユミ　……先生。

アイ　なに？

ユミ　もうはじまりますか？

アイ　みんなが来たらはじめたいなあって

ユミ　……。

アイ　校内放送入れてくるね。

教室を出るアイ。

○ユミとトモ

　ユミはのっそりと教室の中に入ってきて、

ユミは踊りだす。

　そこへトモ。

　その光景に固まる。

ユミ　……（ともに気がつき、）

トモ　役員会議って……

ユミ　踊りませんか？

とも　え

ユミ　踊りませんか？

とも　踊りません。

ユミ　踊ると、頭が柔らかくなりますよお。

トモ　あの、役員会議って（ホワイトボードを指す）

ユミ　（ホワイトボードを読み）これですか。うーん……（生徒会長を指差して）私、生徒会長になりたいんです。

とも　え。

ユミ　バリケード。つくったことあります？

トモ　は？

　ユミは、突然、椅子をぐちゃぐちゃに組んでいく。

トモ　……

ユミ　手伝ってください！

とも　は、はい。

　トモもユミの勢いに負けて、手伝うことに。

　トモはなんとなく手伝う。

　ユミは荒く椅子を積んでいく。

　二人でバリケードをつくっていく（山）。

しばらくして、学内放送。

アイ　（ピンポンパンポン）三年生各クラスの生徒会役員に選ばれた方は、

今すぐ、生徒会室まで来てください。繰り返します……

○廊下

　上手にタバコ吸うところ。

ケン　（アナウンスに反応して）戻ろっか。

ミホ　やっぱ役員やんのいややなあ

ケン　単位のためやおもてやろうや

ミホ　そんなん、単位の奴隷やん

ケン　じゃあ、はよ決めて、はよ帰ろうや

ミホ　でも絶対長引くで。生徒会長とか誰もやりたがらんやろし。

ケン　じゃあ、俺、生徒会長やるわ。で、ミポリン副会長やってよ。

ミホ　なんで？

ケン　ここでそれ決めといたら、はよ帰れるやん

ミホ　なにそれ、頭ええやん。

ケン　ミポリンのことがすきやから思いついてん。

ミホ　えへえ。

　ケンジとミホは腕を絡めつつ、生徒会室へ向かう。

○生徒会室

アイ、バリケードを見ていて

アイ　ななななにしてんの？

ユミ　バリケードー。

生徒会長は、私にやらせろお。

生徒会長は、私にやらせろお。

生徒会長は、私にやらせろお。

アイ　……あのさ、とりあえず、戻してもらってもいい？

ユミ　嫌だー

アイ　あなた、……１年でしょ

ユミ　……。

アイ　１年は、役員にはなれるけど、生徒会長にはなれないって説明しましたよね？

……山下君も、手伝って。

とも　はい。

ユミ　えええー。

　アイは、椅子を戻していると、

ケンとみほが戻ってくる。

ケン　（小さく）あ

みほ　なにこれ

ユミ　バリケード。

アイ　……ちょっと、これ、戻すの、手伝ってもらっていいですか？

　バリケードを戻していく。

　しかし、ユミは、そのたびに、新しい山を作ろうとする。

　アイはそれをみつけて、くたびれつつ、きれて

アイ　ちょっと、あなたなにがしたいの

ユミ　革命！

アイ　革命って……普通のこと言うけど、椅子って、積むものじゃないから。

座るものだから。

ユミ　じゃあ、これはアートです。

アイ　アートじゃない。

ユミ　現代アートです。

アイ　椅子は、座るものだってば！

ユミ　……

アイ　現代アートなめんじゃないよ！

　アイの指示で、椅子を戻して、

ほどよいところで、ミホが時計をみて、

ミホ　先生、あと５分くらいで終電が……。

アイ　ああ、そっか。もう２２時まわってるもんね。

ミホ　明日も仕事やし……。

アイ　わかった。じゃあ、ひとまず、役員の話しちゃいましょう。

中途半端に片付いた状態で、会議。

アイ　えっと、とりあえず、三年から、各クラス代表の、Ａ組の山下さん（とも）、Ｂ組の鈴木さん（みほ）、Ｃ組（ケンジ）園田さんです。それと、今年は一年からも立候補があって、里中さんです。この四人で、生徒会役員の各部署を担当してもらいます。で、その分担をしたいんだけど……。自己紹介どうしよ。する？

ミホ　終電まであと４分。

アイ　じゃあ、ええっと……

ミホ　あたし副会長～！で、この人が、生徒会長！

ケン　（ともやを気にしつつ）あ、うん。

アイ　ちょっと待って、勝手に決めないで。

ミホ　他、生徒会長やりたい人～

ユミ　はーい！

アイ　あんたはダメだって！

ユミ　えええ。生徒会長やりたい～

ミホ　無理だつってんの

ユミ　ええええ

ミホ　ええじゃねえって。（ケンジに甘えて）ねえ、会長

ケン　ああうん

ミホ　帰ろう。

アイ　……山下くんは、いいかな？

とも　……

アイ　山下くん？

黙っていたトモは、バリケードをつくりはじめる。

一同　……？？

　何個か椅子を積んで、

トモ　１年、手伝ってえや。

ユミ　あ、はい。

ミホ　なになに。なにやってんの。

とも　お前が、生徒会長をやるのがやだ。

ミホ　なんで

とも　いややから

アイ　理由がないと。

ミホ　そやで

とも　きしょいから。

ミホ　は？

とも　気持ちがわるいから。

ミホ　（とげのあるやさしさで）どこが、気持ち悪いのかな？

とも　こいつと、お前が付き合ってんのが、いや

ケン　……。

ミホ　そんなん、割り切って、生徒会やるやん。

とも　こいつ、子供もおるし。

ケン　！？

ミホ　どんな噂を聞いたかしらないけど、

ケンちゃん、奥さんとは、だいぶ前に、別れてんで。

今は、子供とも別々に住んでるし……（ケンジに）ねえ。

ケン　う、うん。

とも　関係ない。

ミホ　え、なに？　あんたこの人の子供？

とも　違う。

ミホ　違うやろ。他人やろ。他人のこといちいち口出しせんでもええんちゃうん。生徒会長と副会長がつきあってても、なんの支障もないやん。なあケンちゃん。ケンちゃんもなんかゆうて。

ケン　終電、大丈夫？

ミホ　わかってるけど、気持ち悪いとか言いいよんねんで

とも　きもい、きもい、きもい、きもい（繰り返してる）

ミホ　（なにか喋ろうとしても、きもいに打ち消されて、笑いに変わり、突然椅子を持ち上げる）

ケンとアイ　ちょちょちょ。

ミホ　だって、ケンちゃん、こいつ、うちらのこと

ケン　終電が、ほら。

ミホ　……

アイ　そうね、明日、また会議しましょ。生徒会長は明日。ね。

ケン　ちょっと送っていきます。

アイ　はい。

廊下に出るミホとケンジ。

アイ　……全部、明日にしましょ。ね。とりあえず手伝ってもらってもいいかしら。

　片付けしつつ。

アイ　役員は、明日決めます。ね。生徒会、楽しみだねえ、いろんなことできるよお。たのしみだねえ。先生は、初めての卒業生なので、卒業式泣いちゃうかもなあ。実は、先生、新婚なんだよお。だからさあ、早く帰りたいのはみんなと一緒。ねえ。今年は面白い生徒会ね。ああ、たのしみね。たのしみー。

　廊下にて

ミホ　むかつくわあ。ああ、腹立つぅ。

生徒会長決めるだけやのにさあ、反対してる理由がわからん。

　あいつ、もしかして、うちのこと好きなんちゃうん。なあ。

ケン　……ミポリン、軽く聞いてほしいんやけどぉ、

ミホ　なに？

ケン　笑い話として聞いてな。さっきのＡ組の彼

ミホ　うん

ケン 俺の、息子やねん。

ミホ　うんそっか。……え？　は？

ケン　さっきの、山下くんな俺の息子やねん。

ミホ　ん？　えええええええ！は？え？でもさっき違うって

ケン　今は、別々にすんでるんやけど……

ミホ　え、わからんわからん。え？　同じ学年に息子がいるってこと？

ケン　うん。定時制やしそういうこともあるやん。

ミホ　ちょっと待って、なんで今？

ケン　なんか、これ以上、かくしとくのしんどくて。……ごめん。

ミホ　いや、あやまられても、全然、息子がいることとか、全然いいし、いいんやけど、

……。

ケン　ごめん、黙ってて。

ミホ　……とりあえず謝らんでええし。……とりあえずわからんけど……１００周いこか。

ケン　え

ミホ　……１００周。ほら。

　音楽。

　場転。

２

アイ　（校内放送）下校の時刻になりました。まだ校舎内に残っている生徒は、すみやかに下校の準備をして、下校してください。繰り返します……

　夜の校庭を走るケンジ。

　後方、舞台で、ユミはゆっくりと踊っている。

　ミホは、生徒会室から校庭を見ていて、

　トモヤもいる。

　ケンジしばらく走っていたが、

　ケンジ、疲れて歩き出し、しかし、また走って。

トモ　……あの終電は……

ミホ　どっかで時間つぶして帰る

トモ　……

ミホ　１年は？

トモ　なんか、踊ってくるって。……頭が柔らかくなるそうで

ミホ　ふーん

　ケンジは、歩いて、休憩してしまう。

ミホ　たしかに、嫌や思うで。同じ生徒会におとんと、おとんの女がいたら。

しかもおとん生徒会長やりたいとかいうてるんやろ。

トモ　……

ミホ　（窓から）ケンちゃん、今何周？

ケン ２９周

ミホ　隠し事したあんたが悪いねんで。

ケン　……。

　ケンジはまた走り出す。

ミホ　うちもおかんに彼氏できたとき、すげー嫌やったもんなあ。

うちも、ちっちゃい頃に離婚してんねんけどな。

最近になってよーやく、

親も人間やからしゃあないかって思えるようになってきたけど。

とも　そんなこと、わかってるよ。

ミホ　わかってないって。わかってないでええんやって、わかってないで。

とも　……。

ミホ　わかるときがくるかもなあでええねんて。

　またケンジは走り出す。

　間。

ミホ　（ホワイトボードのほうへ）生徒会長ってなにすんの？

とも　なんか、全校集会で、生徒会報告したり……

ミホ　ふーん。山下くんは、なんで、生徒会役員になったん？

とも　……ぼくは、……その……全日制のやつらを見返したくて。

ミホ　なにそれ

とも　ぼく元々、全日制やって。でも、いろいろあって、仕事しなきゃいけなくなって。

それで定時制にきたんやけど、

急に全日制のやつらに無視されるようになって、

定時制ってだけで下に思われてるなあって。

そんなことで差別されんのおかしいなって。

それ、変えたくて。

だから、全日制のやつらに、夜間、楽しそうにしてるところ見せたくて……

実際、楽しくなくても、楽しそうにみえるようにしたいなって。

それで、生徒会に立候補したら、父がいたりして……。

ミホ　お父さんは、あたしの単位のために、立候補してくれたんだけどね。

　ケンジ、歩いていたが、また休憩する。

ミホ　え。生徒会長やれば

トモ　……いや、それは

ミホ　なんで？

トモ　そうなると……ちょっと

ミホ　あ、そう。

トモ　上に立つのは……無理かなって。

ミホ　……え、じゃあ書記で、全日制の人の意識、変えていくの？

とも　……あ。……いや

ミホ　どうせ、全日制の人の気持ち変えるのも時間かかるんやし、

とりあえず、もう、書いとこうや。……ええっと。

トモ　山下です。

ミホ　はい。（校庭に）ケンちゃん！

ケン えあ？

ミホ　（ケンジに）あんたの息子、生徒会長な！

ケン　おお。ああ。うん。

ミホ　今何周？

ケン　３０

ミホ　あと７０やで

ケン　えええ明日じゃあかん？

ミホ　あかん！　明日やったら、罰にならん。

ケン　……ええ

ミホ　ほら

　ケンジは走り出す。

ミホ　（ホワイトボードに向かいつつ）下の名前は？

とも　でも、ぼく、生徒会長やるのは自信がないっていうか……。

ミホ　……そういうとこほんまお父さんと似てるな。

とも　いや、ただ自信なくて

みほ　え、変えたいの？変えたくないの？

とも　変えたいです。でも……。

みほ　でもなに？

とも　うーん……。

　ケンジはまた休憩。

みほ　じゃあ、占う？

とも　え？

みほ　これ、芯を折らんと、このハートマークを黒く塗りつぶせたら、想いは叶うっていう。や・ま・し・た……なんやっけ？

とも　ともや

みほ　と・も・や。……せ・い・と・か・い・ち・よ・う。はい。

とも ……あ、俺が。

ミホ　うん。

トモ　……（受け取る）

みほ 折れたら、書記ね。

トモ　はい。

ハートマークを塗り始める。

ともやは、そのハートマークを塗りつぶし始める。

塗りながら、

とも　あの……生徒会長になったら、よろしくおねがいします。

ミホ　……ああ、うん。

とも　あと、……父をよろしくおねがいします。

ミホ　わかった。

　アイ、教室に入ってきて、

アイ　あのさ、帰ってくんない。

ミホ　いま、生徒会長になれるか、占ってるんです。

アイ　だから、明日にしてって

ミホ　この学校の会長が決まる占いですから。

アイ　……明日にしてって。ねえ。

ミホ　では、先生さようなら（去る）

アイ　あ、ちょっと、……

とも ……

アイ　それ、家でやってくんない？

とも　はい。

アイ　……ねえ。

とも　はい。（それでも黒く塗りつぶし続けて）

アイ　はいじゃなくてさ。学校しまっちゃうから。

とも　はい。（それでも黒く塗りつぶし続けて）

　校庭で、ミホとケンジが走っていて、

　アイは、校庭の二人をみつけて、

アイ　ちょっと、なに校庭走ってんの？　学校しめたいから！

ねえ、ちょっと、いいから、下校して、下校ー！

そこ、また、バリケード作ろうしてない？！

ねえ、そこ、バリケード作らないで！

もう！

　後方舞台で、椅子を積み上げていたユミ。

　アイは教室を出ようとして、

とも　大変ですね

アイ　え？

とも　夜間は。

アイ　人が集まったらどこも大変よ。（ともに捨て台詞のようにして、校庭へいそぐ）早く帰ってね。

　アイが校庭に飛び出す。

　アイが、ユミを注意し、ユミは逃げ、そして、ミホとケンジも逃げる。

　それは、鬼ごっこのようになり、

　音楽高まる。

教室のともや、月明かりに照らされて、溶暗していく。

とも　……（あくび）

　闇。

【幕】